＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿殿

骨材試験報告書

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

令和　　年　　月　　日

工 事 名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

工事場所＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

製 品 名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

福井市志比口３丁目２番１４号 はさきビル２階
久米田砕石株式会社

070239JP

試験番号：　A-22-5-0119-4
受 付 日：令和 5 年 2 月 13 日

試 験 結 果 報 告 書

（ 骨 材 試 験 ）

〔 7号砕石（S-5）〕

久米田砕石株式会社　殿

試験結果は、本報告書のとおりであることを証明します。

令和　5　年　4　月　1　日

ＪＮＬＡ認定登録試験事業者
株式会社 Ｍ・Ｔ技研　中央材料研究所
福井県鯖江市二丁掛町第7号6番地
TEL：0778-62-1000　FAX：0778-62-7723
発行責任者　所 長　小 林 宏 成

骨材試験結果一覧表

依頼者	会社名	久米田砕石株式会社
	所在地	福井県福井市志比口3丁目2番14号
依頼者申請事項	試料採取日	令和5年2月13日
	試料採取場所	骨材堆積場
	試料採取者	今村　嘉孝
試料搬入日		令和5年2月13日
試験日		令和5年2月14日　～　令和5年3月31日

試験体種類		産地
粗骨材	7号砕石(S-5)	福井県坂井市丸岡町上久米田37字

試験項目			試験結果
ふるい分け試験	JIS A 1102	粗粒率	5.05
微粒分量試験	JIS A 1103	微粒分損失質量　%	0.3
単位容積質量試験	JIS A 1104	単位容積質量　kg/l	1.55
		実積率　%	58.3
有機不純物試験	JIS A 1105	標準色に比較して	—
密度及び吸水率試験	JIS A 1109 JIS A 1110	表乾密度　g/cm^3	2.70
		絶乾密度　g/cm^3	2.66
		吸水率　%	1.46
すりへり試験	JIS A 1121	すりへり減量　%	16.7
安定性試験	JIS A 1122	安定性損失質量　%	3.0
粘土塊量試験	JIS A 1137	粘土塊量　%	0.08
骨材中の塩化物量試験	JIS A 1144	塩化物含有率　%	—
粒形判定実積率試験	JIS A 5005	粒形判定実積率　%	—

技術管理者	楳田　直也
試験担当者	楳田　直也

試験規格 | JIS A 1102

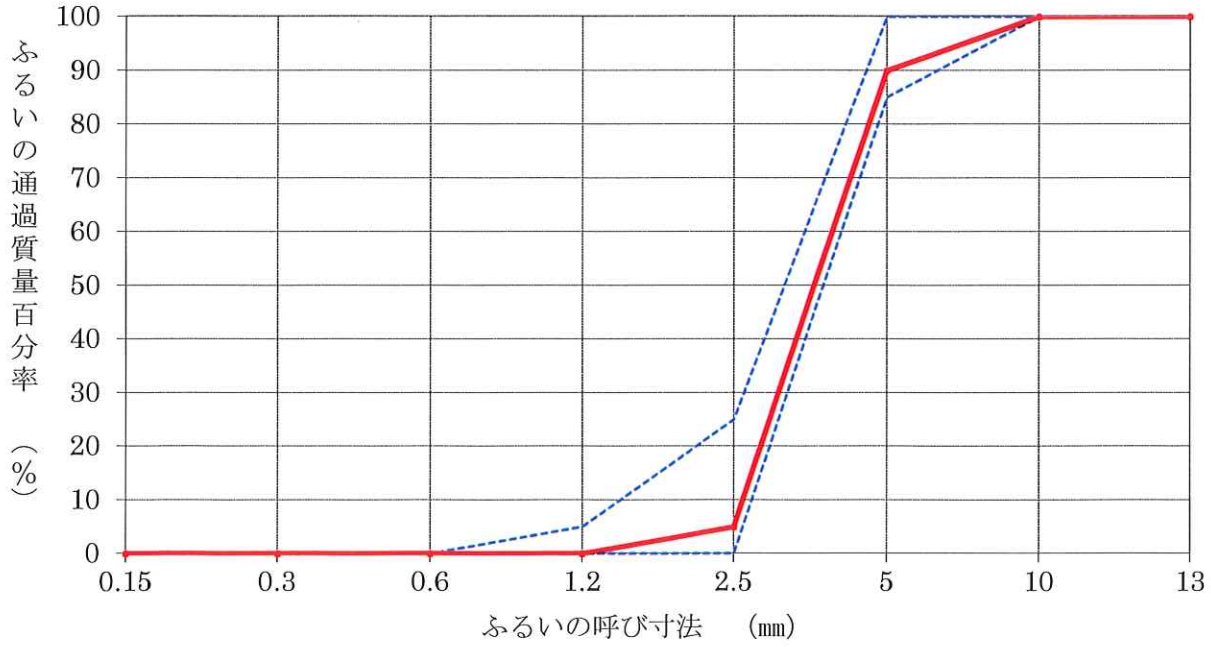
骨材のふるい分け試験（粗骨材）

試験担当者：　楳田　直也

試験日		令和　5　年　2　月　17　日		
試料	種類	7号砕石(S-5)	最大寸法	5mm
	産地	福井県坂井市丸岡町上久米田37字		
	採取日	令和　5　年　2　月　13　日		
	採取場所	骨材堆積場		

ふるい分け方法	手動	ふるい分け前の質量	1382.7	
ふるいの呼び寸法 (mm)	連続する各ふるいの間にとどまる試料の質量 (g)	連続する各ふるいの間にとどまる試料の質量分率 (%)	各ふるいにとどまる質量分率 (%)	各ふるいを通過する質量分率 (%)
(13)	0.0	0	0	100
10	0.0	0	0	100
5	134.9	10	10	90
2.5	1173.2	85	95	5
1.2	65.2	5	100	0
0.6	2.8	0	100	0
0.3	3.1	0	100	0
0.15	1.9	0	100	0
受け皿	1.4	0	100	0
合計	1382.5	100	—	—
試験前後の質量差 (%)	0.01	粗粒率	5.05	

粒度曲線図



試験規格 | JIS A 1103

骨材の微粒分量試験（粗骨材）

試験担当者 ： 楳田　直也

粗　骨　材				
試　験　日			令和　5　年　2　月　17　日	
試　料	種　類		7号砕石(S-5)	
	産　地		福井県坂井市丸岡町上久米田37字	
	採取日		令和　5　年　2　月　13　日	
	採取場所		骨材堆積場	
試験回数			1	2
洗う前の試料の乾燥質量 (g)		m_1	1386.5	1222.5
洗った後の試料の乾燥質量 (g)		m_2	1382.7	1218.6
骨材の微粒分量 $= \frac{m_1 - m_2}{m_1} \times 100$ (%)		A	0.3	0.3
2回の試験の平均値 (%)		$\overline{A}$	0.3	
平均値からの差 (規格値:0.2%以下)			0.0	

試験規格 JIS A 1104

骨材の単位容積質量及び実積率試験

試験担当者 ： 楳田　直也

試験日			令和 5 年 3 月 31 日	
試料	種類		7号砕石(S-5)	
	産地		福井県坂井市丸岡町上久米田37字	
	採取日		令和 5 年 2 月 13 日	
	採取場所		骨材堆積場	
試験回数			1	2
単位容積質量	容器の質量 (kg)	(1)	0.908	0.908
	容器の容積 (l)	V	2.001	2.001
	(容器＋試料)の質量 (kg)	(2)	4.005	4.011
	試料の質量 ＝ (2)－(1) (kg)	m_1	3.097	3.103
	単位容積質量 ＝ $\frac{m_1}{V}$ (kg/l)	T	1.55	1.55
	2回の試験の平均値 (kg/l)	$\overline{T}$	1.55	
	平均値からの差 (規格値:0.01kg/l以下)		0.00	
実積率	試料の絶乾密度 (g/cm^3)	d_D	2.66	
	実積率 ＝ $\frac{\overline{T}}{d_D} \times 100$ (%)	G	58.3	

試験規格 JIS A 1110

粗骨材の密度及び吸水率試験

試験担当者 ： 楳田　直也

試験日			令和 5 年 2 月 24 日	
試料	種類		7号砕石(S-5)	
	産地		福井県坂井市丸岡町上久米田37字	
	採取日		令和 5 年 2 月 13 日	
	採取場所		骨材堆積場	
試験回数			1	2
表乾密度	表乾状態の試料の質量 (g)	m_1	1122.9	1152.1
	試料とかごの水中の見掛けの質量 (g)	m_2	913.3	932.1
	金網かごの水中質量 (g)	m_3	206.1	206.1
	試験温度における水の密度 (g/cm³)	ρ_w	試験水の温度	20 ℃
			0.9982	
	表乾密度 $= \dfrac{m_2 \times \rho_w}{m_1-(m_2-m_3)}$ (g/cm³)	D_s	2.70	2.70
	2回の試験の平均値 (g/cm³)	$\overline{D}_s$	2.70	
	平均値からの差 (規格値:0.01g/cm³以下)		0.00	
絶乾密度	絶乾状態の試料の質量 (g)	m_4	1106.7	1135.6
	絶乾密度 $= \dfrac{m_4 \times \rho_w}{m_1-(m_2-m_3)}$ (g/cm³)	D_d	2.66	2.66
	2回の試験の平均値 (g/cm³)	$\overline{D}_d$	2.66	
	平均値からの差 (規格値:0.01g/cm³以下)		0.00	
吸水率	吸水率 $= \dfrac{m_1-m_4}{m_4} \times 100$ (%)	Q	1.46	1.45
	2回の試験の平均値 (%)	$\overline{Q}$	1.46	
	平均値からの差 (規格値:0.03%以下)		0.01	

水の温度と密度

温度 (℃)	密度 (g/cm³)	温度 (℃)	密度 (g/cm³)	温度 (℃)	密度 (g/cm³)
15	0.9991	19	0.9984	23	0.9975
16	0.9989	20	0.9982	24	0.9973
17	0.9988	21	0.9980	25	0.9970
18	0.9986	22	0.9978	—	—

試験規格 | JIS A 1121

ロサンゼルス試験機による粗骨材のすりへり試験

試験担当者 ： 楳田　直也

試験日		令和　5　年　3　月　3　日
試料	種類	7号砕石(S-5)
	産地	福井県坂井市丸岡町上久米田37字
	採取日	令和　5　年　2　月　13　日
	採取場所	骨材堆積場

ふるいの呼び寸法		ふるい分け試験		粒度区分	球の数	回転数	試験前の各群の質量
通るふるい	とどまるふるい	各群にとどまるもの					
		質量	質量百分率				(g)
(mm)	(mm)	(g)	(%)	A～G	6～12	500または1000	m_1
2.5	—	74.4	5				
5	2.5	1173.2	85				5000
10	5	134.9	10				
15	10	0.0	0				
20	15	—	—				
25	20	—	—				
40	25	—	—				
50	40	—	—				
60	50	—	—				
80	60	—	—				
合計		1382.5	100	D	6	500	5000

試験後1.7mmふるいに残った試料の質量 (g) m_2	4166
すりへり損失質量 $m_1 - m_2$ (g)	834
すりへり減量 $= \frac{m_1 - m_2}{m_1} \times 100$ (%)	16.7

試験規格 JIS A 1122

硫酸ナトリウムによる骨材の安定性試験（粗骨材）

試験担当者 ： 楳田　直也

粗　骨　材		
試　験　日		令和　5　年　3　月　16　日
試　料	種　類	7号砕石(S-5)
	産　地	福井県坂井市丸岡町上久米田37字
	採取日	令和　5　年　2　月　13　日
	採取場所	骨材堆積場

ふるいの呼び寸法		ふるい分け試験		試験前の各群の質量	試験後の各群の質量	各群の損失質量分率	骨材の損失質量分率
通るふるい	とどまるふるい	各群にとどまるもの				$\left(1-\frac{m_2}{m_1}\right)\times 100$	$\frac{① \times P_1}{100}$
		質量	①質量分率	(g)	(g)	(%)	
(mm)	(mm)	(g)	(%)	m_1	m_2	P_1	(%)
10	5	134.9	100	304	295	3.0	3.0
15	10	0.0	0	—	—	—	—
20	15	—	—	—	—	—	—
25	20	—	—	—	—	—	—
40	25	—	—	—	—	—	—
60	40	—	—	—	—	—	—
合　計		134.9	100	—	—	—	3.0

注）①の質量分率が全質量の5%に満たない群のものについては試験をしないが、その群の前後における損失質量分率の平均値をもって その群の値とする。前後の群における試験値のいずれかが欠けているときは、欠けていないほうの群の損失質量百分率をとる。

試験規格 JIS A 1137

骨材中に含まれる粘土塊量の試験

試験担当者 ： 楳田　直也

粗　骨　材			
試　験　日			令和　5　年　2　月　21　日
試　料	種　類		7号砕石(S-5)
	産　地		福井県坂井市丸岡町上久米田37字
	採取日		令和　5　年　2　月　13　日
	採取場所		骨材堆積場
試験前の試料の乾燥質量 (g)		m_{D1}	1223
試験後の試料の乾燥質量 (g)		m_{D2}	1222
粘土塊量＝ $\frac{m_{D1}-m_{D2}}{m_{D1}} \times 100$ (%)		C	0.08

注1）試験回数は、附属書Bによる。

本書の取扱いについて

- 本書の試験結果は、本書中に記載の試験体について得られたものです。
- 本書を複製して第三者に開示する場合は、必ず全文を複製することとし、一部分だけの複製は行わないで下さい。
- 本試験結果の一部分を、当試験所の名称を付してカタログに記載する等、一般に開示する場合は、文書によって当試験所の承認を得るようにして下さい。

本書についての問い合わせは、下記までお願いします。

株式会社 M・T技研　中央材料研究所
〒 916-0068　福井県鯖江市二丁掛町第7号6番地
TEL ： 0778-62-1000　FAX ： 0778-62-7723